



「夢と希望と思いやりを持ち
一歩ずつ、前へ進みます」

【平成21年度織笠小学校卒業式・関連記事17ページ】

やまがた
広報

No. 960

今号の主な内容

- 大沢小が学校新聞日本一に
- 施政方針の内容
- 平成22年度予算の中身
- 町の機構改革
- みんなのスペース
- 町のわだい
- 町の歴史人物誌55

- 2~3
- 4~9
- 10~11
- 12~13
- 14~15
- 16~17
- 26

4月7日号 2010

CONTENTS



全校児童とともに受賞を喜ぶ前児童会執行部（写真前列）

大沢小学校が日本一

全国小・中学校・PTA新聞コンクール 内閣総理大臣賞に輝く

第59回全国小・中学校・PTA新聞コンクール（毎日新聞社など主催）の入賞校が発表され、小学校・学校新聞の部で大沢小学校の「海よ光れ」が全国1位となる内閣総理大臣賞を受賞しました。

「海よ光れ」は児童会執行部が発行する月刊の学校新聞で、同コンクール4年連続の入賞にして初めての内閣総理大臣賞となります。受賞は2月に発行した第64号の1面で報告、地域の住民にも配り、134年の校史でも最大級の快挙を地区を挙げて喜びました。

3月6日に東京の毎日新聞本社で行われた表彰式には、前児童会執行部の児童9人が出席。代表の前会長・前山悠樹君（現山田中1年）と前副会長・大川莉穂さん（同）に表彰状とカップが手渡されました。

大沢小学校の学校新聞の創刊は平成16年9月。新聞名は全校から募集し、毎年行われている同名の全校表現劇から名づけら



3月6日に行われた表彰式で賞状とカップを受け取る前山悠樹君と大川莉穂さん



前児童会長
前山悠樹君

みんなで頑張った成果 先生方に感謝伝えたい

コンクールのことは意識していなかったのですが、学校生活が楽しくなるよう執行部全員で頑張ってきた努力が認められ、みんなで喜び合いました。歴代の先輩方や、これまで指導いただいた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。



▲新年度を新たな気持ちで迎えようと呼び掛ける第55号(4月30日発行)。お世話になっている地域の方へ感謝の気持ちを表す記事も掲載。



①3月から新執行部による新聞づくりがスタート②魅力ある紙面にインタビューは欠かせません③それぞれが役割を分担し原稿を作成します

れました。以来「学校生活に役立つ新聞」を目指し、ほぼ毎月発行を続けてきました。児童会執行部は放課後のほとんどを新聞づくりに費やします。魅力ある紙面づくりのため毎号アンケートを実施。学校の実態を把握するほか、全校参加型の新聞にすることで全校児童に読んでもらえる紙面を目指してきました。また、積極的に足を運んで取材することも欠かさず、共同募金が何に使われているか、社会福祉協議会に向いて話も聞いたこともありました。

前児童会長の前山君は「どのような学校を目指すか、全校で取り組むべき問題は何かをみんなで話し合いながら取り組んできました。特にベルマーク集めについて呼び掛けを続けたところ、早く目標を達成し、備品が学校に届いたことが一番うれしかったです」と成果を喜びます。3月からは新しい執行部での新聞づくりがスタート。新児童会長の中村奈緒さん(現6年)は「元気で明るい学校を目指し、楽しんで読んでもらえる新聞を作りたい」と意欲に燃えます。これまでの努力が実りついに日本一に輝いた大沢小学校の学校新聞づくりは、より良い学校を目指し、これからも続きます。



▲第58号(7月24日発行)では、ベルマーク集めや各種行事への積極的な取り組みなどを呼び掛けました。

素直な気持ちを表現し 子供たちが大きく成長

「海よ光れ」は、子供たちが学校を思う素直な気持ちで溢れています。明るく楽しい学校づくりを目指して新聞を作りながら、自主性や社会性、責任感など多くを身に付けてきた子供たち。その成果を糧に、さらに成長してくれることを願っています。



6年間新聞制作を指導する
山根一志 教諭

平成22年度 施政方針の内容

平成22年第1回山田町議会定例会が2月18日から3月12日まで開かれ、22年度の一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には沼崎喜一町長が第8次山田町総合発展計画の6つの柱を基本に、本年度の基本方針を述べました。今号では、施政方針の内容と22年度予算の中身を紹介します。(11頁まで)

一つ一つの可能性を掬いあげ 先頭に立ち町政発展に努める

平成22年第1回山田町議会定例会が開催されるにあたり、平成22年度の町政運営の基本的な考え方ならびに主要な施策について申し述べます。

本年度は「自主・自律・協働」のまちづくりを基本理念として事業を進めてきた第8次山田町総合発展計画・前期基本計画の最終年となり、後期基本計画に向け作業を開始する年であります。町政の課題は一層増大し難しさを強めています。中長期的な視点に立ち、課題解決に向けて皆さまのご意見を幅広く伺い、住民の参画と協働による活気あふれるまちづくりを進めていきます。

22年度予算は、限られた財源の効率的な運用と的確な予算配分、経常的経費の圧縮・節減やプライマリーバランスの均衡を基本方針としましたが、結果として、新たに創設された子ども手当、緊急雇用創出事業、地上デジタル放送への対応、山田中学校武道場建設事業、学校給食センター建設事業などにより積極予算となりました。

以下、第8次山田町総合発展計画に掲げる領域に従い、平成22年度の施策について述べてまいります。



地域の特性を生かした産業振興で元氣創造をめざすまち

雇用創出や未就職者の求職活動を支援

水産業については、昨年10月に誕生した三陸やまた漁業協同組合が経営基盤を強固のものとし、組合員の負託に応えるべく取り組む▼コンピュータ機器の整備▼経営改善支援資金の保証料への補助▼水産物販売強化プランの策定▼織笠ふ化場の施設整備に対する補助——などの事業や財務改善策に対して積極的に支援します。

また、山田魚市場外来漁船誘致協議会の活動や山田漁業協同組合連合会が行う鮮度保持タンクなどの整備を支援するほか、むき身力キを主体とした水産物の販路拡大のため、漁業者と連携し量販店や産直市などでのPR活動に取り組みます。

農業については、稲作販売農家に対し所得補てんを行う「戸別所得補償モデル対策」が実施されますので、事業の円滑な推進に努めます。また、いわて希望農業担い手応援事業によりリンドウ苗、栽培資材、生産管理機械の導入を、農地・水・環境保全向上対策事業により良好な農村環境づくりを支援します。肉用牛については、肥育の預

託契約が継続されることから、飼養頭数の拡大に向けて飼養管理指導を実施します。

認定農業者を中心に自主的に実施が計画されている「山田農業まつり」の再開を積極的に支援します。

林業については、座談会などで補助事業の周知に努め、間伐などの森林施業を推進します。町有林は、適切な森林整備を推進するため、区域の明確化と立木育成状況調査を進めます。

高評価を得ている乾しいたけ生産を推進するため、椎茸生産組合のほだ木造成を支援します。また、販路拡大を図るため、道の駅やまだが首都圏で開催されるイベントへの参加やホームページの立ち上げなどを行う特用林産物販売促進事業を支援します。

森林整備加速化・林業再生基金事業により、山田中学校の武道場を地域木材を使って整備します。このことにより、利用者に木造住宅の良さをPRし、地域材の需要拡大を図ります。

商工業については、消費者ニーズに対応した魅力ある商店

商店街づくりを進めるため、商工会が取り組む経営指導の強化、経営改善普及事業を支援します。空き店舗対策は、中心市街地新規出店者経営支援事業補助制度により、商工会と連携して新たな出店者に支援します。

観光振興については、「マリン・ツーリズム山田」と連携してカキ・ホタテの予約販売によるオーナー体験制度の普及拡大や体験型観光を推進するとともに、花まつりやアサリまつり、鮭まつりなど四季を通じた観光イベントを開催し、交流人口の拡大を図ります。また、カキまつりやオランダ島まつり、秋祭りなどの実施により本町のPRや観光客の誘致に大きな役割を果たしている「山田の魅力発信事業」を引き続き支援します。

海水浴シーズンに山田—オランダ島間を運航している観光船は、シーズン以外にも「町民の船(仮称)」として、町民を対象とした▼学校教育関係事業▼社会教育活動事業▼福祉関係事業▼観光事業——などに幅広く活用します。

雇用の安定と就労の場の確保のため、町中小企業融資制度や企業誘致優遇措置制度の利用促進により優良

企業の誘致を進めるとともに、既設誘致企業での雇用拡大に努めます。また、緊急対策として創設された「ふるさと雇用再生特別基金事業」や「緊急雇用創出事業」を活用して▼障がい者福祉施設農産物栽培販売事業▼気になる子に対する発達支援事業▼特用林産物販売促進事業▼学校ICT化サポート事業——などを実施し、臨時的・一時的な就業機会の提供や安定的な雇用の創出に努めます。そのほか、未就職のまま卒業する新規学校卒業者を町臨時職員として最長6カ月間任用しながら求職活動を支援する「未就職卒業生支援事業」を実施します。



緊急雇用創出事業により就業機会を提供します

環境にやさしい快適な生活基盤の整備で「元気創造をめざすまち

地デジ放送の難視聴地域解消に努める

三陸縦貫自動車道の「釜石山田道路」は、釜石市両石町から

同市片岸町までの先行整備区間4・6キロが本年度開通に向け工事が進められています。山田までの早期事業着手を引き続き国や関係機関に要望していきます。

県道については、宮古山田線の豊間根地内の早急な整備と、主要地方道重茂半島線の改良などを引き続き県に要望します。

町道については、山田病院へのアクセス道路として重要な町道細浦柳沢線を県代行事業として採択すること、県の関口川河川改修事業による町道沢田関谷線とJR交差部ガード下道路整備改良の早期実現を県に要望していきます。また、町道中央長崎線の歩道整備事業、新たに町道前須賀タブの木荘線の歩道整備事業を実施します。

テレビ地上デジタル放送は、昨年10月に山田中継局が開局しましたが、新たな難視聴地域も出てきていますので、共同受信施設組合の施設改修や新たな組合設立を支援し、難視聴の解消に取り組みます。また、放送事業者が実施する豊間根、関口、関谷地区の小規模中継局デジタ

ル化整備を支援します。

下水道整備事業については、山田処理区の27年度一部供用開始を目指し、長崎、北浜地区の管渠かき工事を拡大し、終末処理場と中継ポンプの実施設設計を行います。下水道処理区域外では、合併処理浄化槽の普及促進を図ります。

柳沢北浜地区土地区画整理事業については、区画道路6路線870坪と宅地整地工事1万1千平方坪、建物16戸の移転を、都市計画道路細浦柳沢線については、道路築造工事60坪と橋梁工事を実施します。

大規模地震対策として、引き続き民間木造住宅の耐震診断と



難視聴地域の解消は緊急の課題です

耐震改修の助成事業を進めます。水道事業については、柳沢北浜地区配水管布設事業、豊間根簡易水道配水管布設替事業を実施するとともに、簡易水道統合計画に基づき25年度の会計統合と大浦簡易水道、小谷鳥簡易水道の上水道接続に向けた取り組みを進めます。

廃棄物処理については、昨年度改正された資源ごみの分別収集が円滑に行われるよう、資源循環型リサイクルを目指した意識啓発を図ります。不法投棄の防止については、町環境衛生実践会連合会と連携して、町民の意識向上に努めます。

人と自然が共生する環境の保全を進めるため、山田町環境基本計画を見直しながら地球温暖化対策実行計画を基にさまざまな機会をとらえて環境学習を推進します。また、山田湾、船越湾の環境を守るため、山田の海を守る会が取り組む排水浄化の情報提供や意識啓発などの活動を支援します。

健やかで安心できる暮らしの実現で「元気創造をめざすまち

山田病院の医師不足解消へ招へい活動

町内の出生数は平成20年度で114人と低い水準にあり、少子化が進んでいます。子供を安

昨年度策定した山田町地域新エネルギービジョンの基本方針「新エネルギーを活かし、豊かな自然と調和するまちづくり」を進めるため、クリーンエネルギーの普及啓発や緑の分権改革事業などに取り組みながら、本格展開を見据えた実施計画の策定を第8次山田町総合発展計画・後期基本計画に盛り込んでいきます。

自然災害対策として県が進めている織笠川三陸高潮対策事業、山田・大沢漁港海岸保全施設整備事業、関口川河川改修事業は、早期の完成を要望していきます。また、県に要望してきた急傾斜地崩壊対策事業は、新たに織笠地区に進められます。

大きな課題である町営織笠漁港防潮堤かさ高上げ工事については、海岸保全事業として一体的に整備できるよう、引き続き国・県、関係機関に要望していきます。

国土調査事業は、小谷鳥、大浦地区の441筆、1・1平方キロの地籍調査を実施します。

心して生み育てることができ、地域社会の構築のため、保育ニーズに対応したきめ細かな



サービスを提供します。また、就労家庭の子育て支援のため、放課後児童クラブの運営を継続するとともに、新たに船越小学校の空き教室の改修事業に着手し、平成23年4月の事業開始を目指します。

織笠保育園の民営化については、県事業により園舎周辺の急傾斜地が整備されることや、来年4月に予定している轟木児童館健全育成型移行により園児数増が期待されることから、再度引き受け法人の募集を行います。安心して出産できるように、14回の妊婦健康診査と里帰りにより県外在住の乳幼児と妊婦の健康診査を公費負担とし、費用の負担軽減に努めます。地域での健康づくりについて

は、運動や食事などバランスのとれた生活習慣を定着させるための健康教室、糖尿病の発症予防と重症化防止のための個別訪問による保健指導に努めます。

県では、県立山田病院を地域の入院医療や救急機能を担う医療機関として位置づけながらも、医師不足による内科医不在、病床利用者の低迷の状況にありま。今後は、医師確保と山田病院が担うべき役割と機能の充実を県に要望していきます。また、「山田病院と地域医療を守る会」と連携して山田病院の現状を理解してもらうための地域懇談会などを開催するとともに、町出身医師の情報収集や町ホームページでの医師募集を行うなど、医師の招へいに取り組みます。

国民健康保険事業は、主要財源の確保と医療費の動向に注視しながら、財政基盤安定に努めます。また、増加する医療費抑制のため、生活習慣病の予防を中心とした施策の実行が求められており、特定健康診査の受診率向上と特定保健指導・事後指導の参加率向上に努めます。

いつまでも元気で生活できる地域社会構築のため▼生活管理指導員派遣事業▼見守りネットワーク事業▼成年後見制度利用支援事業▼災害時要援護者支援事業▼高齢者虐待防止ネット



診療体制の充実が望まれる県立山田病院

ワークづくり——などを支援します。

持続可能な介護サービス制度の確立を目指し、予防重視型を柱とする第4期介護保険事業計画を推進します。地域包括支援センターを核とする介護・医療・福祉の関係機関が連携し、包括的な地域ケア体制づくりと在宅サービスの供給を推進します。また、施設入所希望者対策として、小規模多機能型居宅介護事業者の施設整備補助を行います。

障がい者福祉については、町中央コミュニティセンターへのオストメイト対応トイレの整備や、自立した日常生活を送るために必要なサービスの提供、宮古圏域で実施している相談支援事業の機能強化を行います。

交通安全・地域安全対策については、関係機関などと連携し、地域安全活動や啓発活動を推進します。また、道路安全施設の総点検などを実施し、必要な交通安全施設の整備に努めます。

消防・防災対策については、複雑多様化、大規模化する各種災害に対処するため▼山田地区建設業会との防災協定締結▼漁業集落環境整備事業による大浦地区への防災看板の設置▼障がい者や高齢者など災害時要援護者の避難支援体制の整備▼自主防災組織の育成と組織化——を推進します。

また、消防団員の確保と資質向上に努め、消防署との連携強化を図るとともに、第7分団と第12分団の消防屯所の改修など消防防災施設の強化に努めます。

手をつなぎ、未来への芽をはぐくみ元氣創造をめざすまち

武道場を山田中・豊間根中2校に建設

町民一人一人が生涯にわたる心豊かな生活を送るため、自分

に合った学習機会を自由に選択し、自発的に学ぶことができる



山田中・豊間根中の武道場を建設します

地域社会の構築が求められています。生涯学習の推進のため、教育・文化・体育の各施設整備や学習機会の提供に努めます。学校教育環境の充実については、学習指導要領の改正に对应した武道場を山田中学校では公共木造施設として、豊間根中学校では21年度繰越事業として建設します。

学校給食センターの建設については、24年度の給食実施を目指して本年度に実施設計を行い、建設工事を22・23年度の継続事業として取り組みます。

町立さくら幼稚園は、平成23年3月末で廃止する方向で進めています。

県立山田高等学校については、魅力ある学校づくりへの支援と中学校との交流を進めます。

社会教育充実のため、家庭教育学級や女性セミナーなど各種学級や講座を開設し、生涯の各時期に対応した学習機会の提供や支援に努めます。また、放課後子ども教室は、織笠、大沢、田の浜地区に加え、新たに大浦地区でも実施します。

図書館の整備については、旧県立山田病院跡地の利用に係る外部の検討の結果を踏まえて財政計画との整合を図りながら検討していきます。鯨と海の科学館については、23年度の指定管理者制度導入を目指します。

町民の健康や体力づくりへの意識向上に对应するため、気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。また、体育施設・設備の充実や町体育協会・傘下の各協会への活動助成などを進めるとともに、第71回国民体育大会の高校軟式野球会場地として関係団体との連絡調整を図ります。

芸術・文化の振興については、心の豊かさを実感し、自分らし

さを表現する手段として、創作、展示、発表の場や優れた文化芸術に触れる機会を提供し、町民芸術祭や展示会などの開催を支援します。

町の文化財を保護、活用するため、文化財説明看板の設置や周辺環境整備に努めます。また、5年間にわたる房の沢古墳群出土鉄製品の保存処理の成果をまとめた報告書を刊行します。

住民参加と協働で元気創造、自律をめざすまち

住民協働支援事業の基準見直しを検討

町民が主役の元気な地域づくりについては、住民協働推進支援事業により自治会などが特色ある地域づくり▼高齢者支援事業▼世代間交流事業▼環境整備事業▼自主防災事業▼郷土芸能の伝承——などの活動に取り組んできました

地域の活性化、地域づくりが重要な課題です。「結い」の精神の再構築を図るため、町民への情報提供と町政への理解を深めながら住民協働推進支援事業を核として引き続き推進します。



昨年度の町民体育祭の様子

身の丈にあった、健全な行財政で元氣創造をめざすまち
地域医療推進室設置し医師確保を支援

身の丈にあった、健全な行財政で元氣創造をめざすまち

政府は、地方財政対策について「地方が自由に使える財源を確保する」としていますが、地方税の減収や社会保障関係経費の増加などにより、地方財政は依然として厳しい状況にあります。

本町においては、堅実な事業執行に努め、必要な財源を確保し、財政健全化判断比率に配慮しながら効率的な財政運営を推進します。

税徴収体制の強化策として、県地方税特別滞納整理機構へ職員を派遣し、滞納整理により町税の収納率向上に努めるとも



地域医療推進室を設置し医師確保に取り組みます

に、納税者の利便性向上のため、町税4税をコンビニエンスストアでも納税できるよう、23年度からの運用を目指し整備していきます。

行政改革は、集中改革プランにより一定の成果を上げていますが、町民サービスや事務に支障が生じないよう事務事業の見直しや職員研修の充実に努めながら今後も推進します。また、行政組織の再編から5年経過したことから評価と反省を踏まえ、各課の規模を適正化し、分りやすく親しみやすい組織と名称となるよう再編を行うほか、

県立山田病院の医師確保を側面から支援するため「地域医療推進室」を健康福祉課内に設置します。

国・県事業の導入促進については、本町の課題解決に向け、要望活動を継続します。

第8次山田町総合発展計画・後期基本計画は、27年度を目標年次とし、住民の参画と協働による活気あふれるまちづくりができる計画となるよう策定作業に着手してまいります。

以上、平成22年度における主要な施策について申し述べてまいりました。

新年度の当初予算は、プライマリバランスの均衡に配慮するなど堅実な財政運営を目指しながらも、対前年度比12・6%増の積極予算となりました。

昨年来の国の景気対策を活用した各種事業に続き、新年度においても、多くの課題を解消するための施策を積極的に導入しているものであります。また、国においては、平成21年度末で失効する過疎地域自立促進特別措置法を6年間延長し、同時に過疎地域の要件や対象事業債の

追加なども検討されており、本町もその対象となる見込みであります。今後、過疎債を活用した事業展開が考えられ、新たな町づくりの可能性が広がることになりす。

厳しい経済環境の中にあっても、私は、一つ一つの可能性を掬い上げ、かたちづくりながら、町民の皆さまの先頭に立って全身全霊を傾注して、町政発展のために努力することをお誓いするものであります。

町民ならびに議員の皆さまの町政に対するご理解、ご協力をお願いして施政方針とさせていただきます。



平成22年度予算の中身

健康福祉課

- ◆障害者自立支援給付費 2億3,447万円
- ◆老人保護措置委託料 1,144万円
- ◆オストメイト対応トイレ設置工事 100万円
町中央コミュニティセンターに身体障がい者用のトイレを設置します。
- ◆民間保育所運営委託料 2億9,214万円
- ◆子育て支援事業費 5,386万円
▷「気になる子」に対する発達支援事業委託料…1,525万円▷延長保育促進事業補助金…940万円▷病児・病後児保育事業（病児対応型）補助金…312万円

国保介護課

- ◆国民健康保険事業 26億759万円
国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんがお金を出し合い、病院にかかるときの医療費に充てる支え合いの制度です。
- ◆後期高齢者医療事業 1億3,967万円
後期高齢者医療制度は75歳以上（一定の障害のある方は65歳以上）の高齢者が、病気になっても安心して医療が受けられる制度です。
- ◆岩手県後期高齢者医療広域連合負担金 1億7,033万円
- ◆介護保険事業 15億2,748万円
歳出総額の94.8%を占める保険給付費は14億4,830万円で、訪問介護や通所介護、施設介護など各種サービス費用に充てられます。
- ◆介護サービス施設等整備臨時特例事業費補助金 2,625万円
介護施設の入所希望者への対策として、小規模多機能型居宅介護事業者に施設整備費を補助します。

町民課

- ◆子ども手当て扶助費 3億2,234万円
国の創設した子ども手当ての支給を行います。
- ◆塵芥^{じんがい}し尿処理費 2億2,366万円

消防防災課

- ◆宮古地区広域行政組合（消防関係）負担金 3億475万円
- ◆消防屯所改修事業 270万円
災害活動の拠点となる町消防団の屯所（第7分団、第12分団）を改修します。

上下水道課

- ◆建設改良費 6,824万円
▷柳沢・北浜地区配水管布設事業費…3,000万円▷老朽管更新事業費…1,300万円
- ◆豊間根簡易水道配水管布設替工事費 3,900万円
- ◆公共下水道事業 5億2,105万円
快適な生活環境と海や河川の水質保全を目的に、山田地区で公共下水道施設整備事業を実施しています。

水産商工課

- ◆水産振興費 3,427万円
昨年10月に誕生した三陸やまだ漁業協同組合の経営基盤の強化や、町内各漁協が「安全で安心できる」水産物を提供するための設備整備に対する補助金などが計上されています。
- ◆中心市街地新規出店者経営支援事業補助金 100万円
- ◆船越家族旅行村管理費 2,704万円
- ◆山田の魅力発信実行委員会補助金 400万円
- ◆アサリ・花まつり開催事業費 880万円



昨年度のアサリまつりの様子

農林課

- ◆いわて希望農業担い手応援事業補助金 150万円
リンドウ苗、栽培用資材、生産管理機械の整備などに対する補助金です。
- ◆山田中学校武道場建設工事費 1億506万円
地域木材を活用した公共木造施設として建設します。
- ◆森林整備地域活動支援交付金 293万円
森林の巡視や整備など、適正な維持管理を行う団体や個人の活動に対する交付金です。
- ◆町有林区等明確化事業費委託料 1,082万円

建設課

- ◆道路維持費 4,561万円
- ◆道路新設改良費 1億2,451万円
- ◆土地区画整理費 4億4,380万円
▷宅地整地や街路、細浦柳沢線などの工事費…1億8,386万円▷建物等移転補償費…2億5,408万円
- ◆木造住宅耐震改修助成事業補助金 180万円

教育委員会

- ◆小学校管理費 9,144万円
- ◆中学校管理費 5,591万円
- ◆人づくり事業費 870万円
ジュニア海外使節団派遣事業の旅行業務委託料、国内外研修事業補助金などが計上されています。
- ◆学校給食施設費 1億3,219万円
学校給食センター建設工事費などが計上されています。

一般会計

平成22年度の町一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ71億8,768万円。前年度当初予算と比べて12.6%の増となる積極予算となりました。

歳入は、町税収入の減少を見込んだことなどにより自主財源が9.8%の減となる一方、依存財源は国庫支出金などの増加などにより22.2%の増となりました。

歳出では、事業の見直しを行いました。新たに創設された子ども手当や地上デジタル放送への対応などにより全体で8億535万円の増となりました。

町の財政事情は依然厳しい状況にあります。財政計画との整合性を図りながら第8次総合発展計画を着実に実行し、元気なまちづくりを目指していきます。

■歳入の状況 (単位：万円、%)

歳入		予算額	構成比	伸び率
区分				
自主財源	町税	110,520	15.4	△1.7
	繰入金	44,929	6.3	△24.2
	使用料・手数料	7,290	1.0	△2.6
	分担金・負担金	5,534	0.8	△15.1
	諸収入	3,238	0.4	△26.6
	財産収入	1,070	0.1	△14.9
	繰越金	10	0.0	0.0
	寄附金	1	0.0	0.0
計		172,592	24.0	△9.8
依存財源	地方交付税	302,700	42.1	5.5
	国庫支出金	81,505	11.3	66.2
	町債	74,750	10.4	86.1
	県支出金	65,446	9.1	43.5
	地方譲与税	7,100	1.0	△7.1
	その他	14,675	2.1	△15.6
計		546,176	76.0	22.2
合計		718,768	100.0	12.6

■歳出の状況 (単位：万円、%)

歳出		予算額	構成比	伸び率
区分				
民生費	206,764	28.8	19.9	
総務費	105,349	14.7	27.4	
公債費	104,740	14.6	△9.2	
土木費	102,588	14.3	15.3	
教育費	63,195	8.8	17.7	
衛生費	44,246	6.1	△3.5	
農林水産業費	35,616	4.9	50.8	
消防費	34,299	4.8	△3.0	
商工費	10,735	1.5	10.8	
議会費	9,724	1.3	△2.7	
労働費	1,013	0.1	791.3	
災害復旧費	1	0.0	0.0	
予備費・その他	500	0.1	0.0	
合計	718,768	100.0	12.6	

町の全会計

町の平成22年度一般会計予算と各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は126億723万円です。

ここでは、本年度行われる主な事業を担当課ごとに紹介します。

◆平成22年度各会計の予算額

- 一般会計……………71億8,768万円
- 国民健康保険特別会計……………26億759万円
- 後期高齢者医療特別会計……………1億3,967万円
- 介護保険特別会計(事業勘定)……………15億2,748万円
- 介護保険特別会計(サービス事業勘定)……………284万円
- 簡易水道特別会計……………8,555万円
- 漁業集落排水処理事業特別会計……………1億3,383万円
- 公共下水道事業特別会計……………5億2,105万円
- 水道事業会計……………4億154万円

※水道事業会計には、収益的支出予算と資本的支出予算の合計額を掲載しています。

総務課

- ◆住民協働推進費……………181万円
住民協働推進支援事業補助金150万円が計上されています。
- ◆地上デジタル放送共聴施設改修費補助金……………1億2,980万円
- ◆地上デジタルテレビ中継局整備費補助金……………7,625万円

選挙管理委員会

- ◆参議院議員選挙費……………1,417万円

企画財政課

- ◆電算管理費……………6,627万円
電算システムのアウトソーシングによるオープンシステムのリース料4,037万円や、同システムの保守委託料628万円が計上されています。

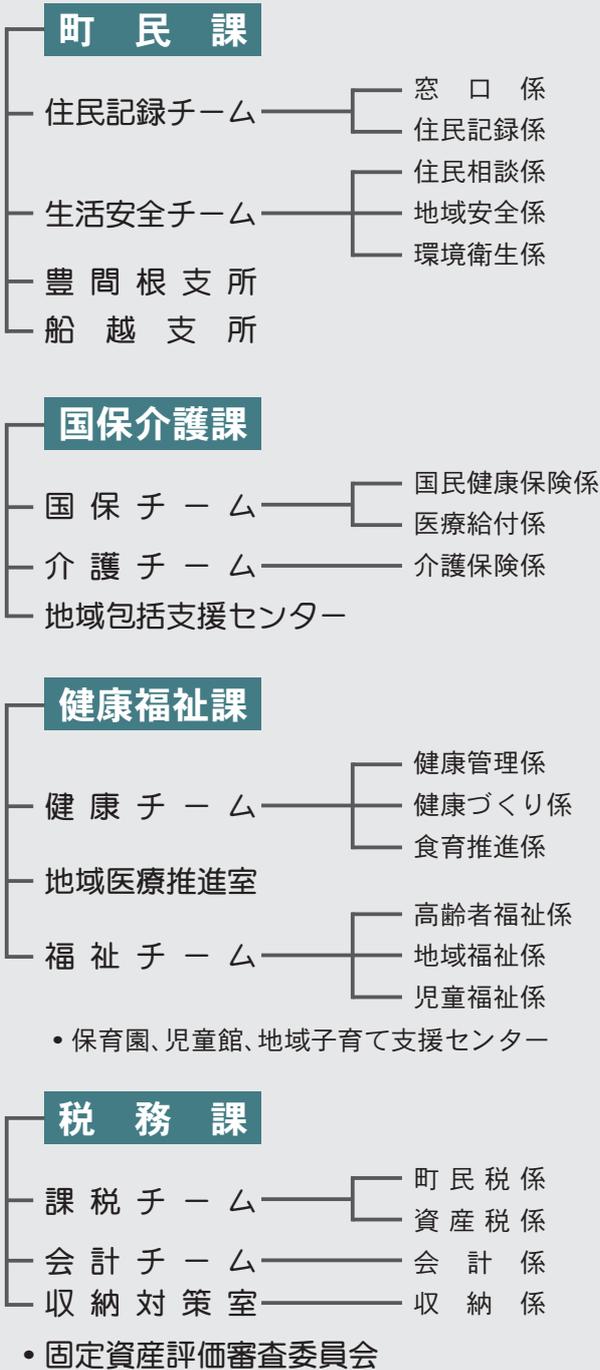
税務課

- ◆町税コンビニ収納システム導入委託料……………398万円
- ◆標準宅地鑑定評価委託料……………658万円
3年ごとの固定資産税額の見直しに伴い、税額決定の基礎となる町内全域の土地の鑑定を行います。



コンビニ収納システムの導入で納税の利便性が図られます

1階



町の機構改革

効率的な行政運営を目指し

4月1日から新しい組織体制に

4月1日付で、町の機構改革が行われます。より効率的な行政運営を進めるため実施するもので、課の分割・再編により12課制が14課制になるほか、組織内の連携を強化するためチームの下に係が設置されます。機構改革による課の枠組みについては3月1日号の広報でお知らせしましたので、今号では各課の組織体制と業務内容をお知らせします。

今回の改正は、平成16年4月に行った機構改革の評価と反省を踏まえ、より効率的で住民が親しみやすい組織体制を目指して行うものです。新しい組織は、事務処理を行う単位である「係」と、複数の「係」からなる「チーム」で仕事

が行われます。それぞれの組織が連携を取りながら有機的かつ弾力的に事務配分を行い、限られた人員での事務の効率化を図ります。町では、今後とも事務事業の円滑な推進ができるよう効果的に効率的な組織運営に努めています。

きますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。4月から変更となる各課の主な業務は、次のとおりです。

- ▽国保介護課 旧住民生活課が担当していた国民健康保険と医療給付、旧保健福祉課が担当していた介護保険と地域包括支援センターの業務を統合します。
- ▽健康福祉課 旧保健福祉課の保健部門（健康管理・健康づくり・食育推進）と福祉部門（高齢者福祉・地域福祉・児童福祉）に加え、新たに地域医療推進室を設置します。
- ▽町民課 旧住民生活課の住民記録・窓口業務と、住民相談や地域安全、環境衛生などの業務を引き継ぎます。
- ▽上下水道課 旧水道事業所と旧地域整備課の下水道部門を統合します。
- ▽建設課 旧地域整備課の道路整備や区画整理、町営住宅管

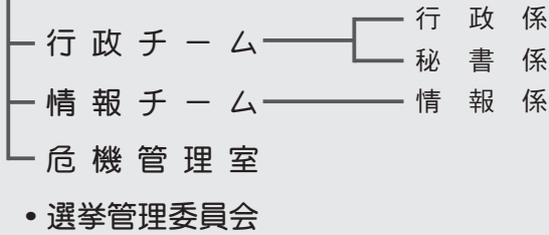
より効率的で分かりやすい行政運営を目指し、新しい組織体制がスタートします

5階

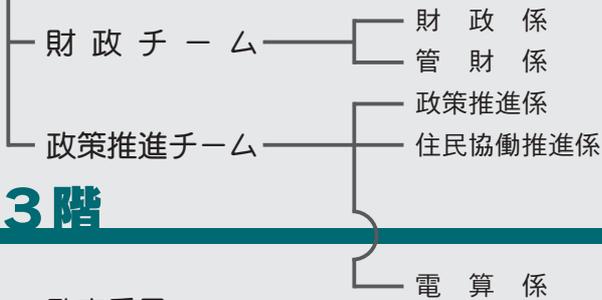
議会事務局

4階

総務課



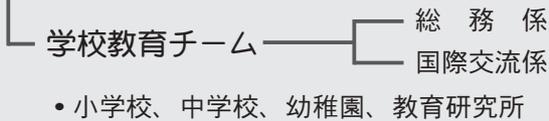
企画財政課



3階

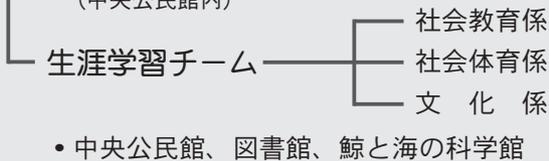
- 監査委員

学校教育課



生涯学習課

(中央公民館内)



消防防災課

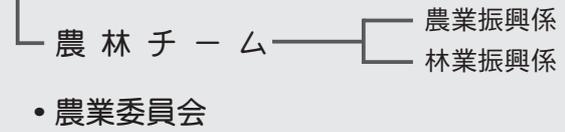
(山田消防署内)



役場庁舎外

2階

農林課



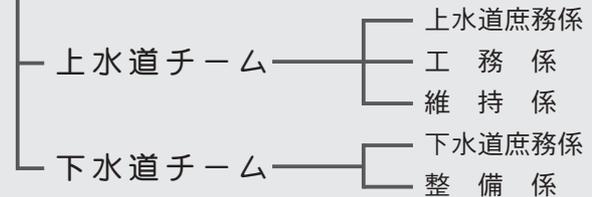
水産商工課



建設課



上下水道課



役場庁舎

理など建設に関する分野の業務に加え、国土調査の業務を担当します。

▽農林課 旧産業振興課の農業振興部門と林業振興部門を引き継ぎます。

▽水産商工課 旧産業振興課の水産振興や観光振興、商工労働の各業務を引き継ぎます。

▽企画財政課 総務課が担当していた住民協働の推進に関する業務を新たに担当します。

◆問い合わせ 町総務課情報係
(☎82-3111内線460)へ。

みんなのスペース



チョコッパ(15)



木下慶輔(8)



阿部想(6)



田中陽葵(?)

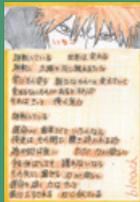


もとだ なな ちゃん
(豊間根保育園・5)

おおきくなったら花屋さんになって、お店に大好きなバラをいっぱい飾りたいな。



小林哉太(8)



大久保結衣(14)



ささかい(?)



聖哭螳螂(14)



YUIKA(8)



澤田彩花(10)

実社会に巣立つ若者たちへ

3月から4月は卒業、入学、就職、旅立ちなど人事異動の時期である。かつてわたしたちが学校の卒業式で「蛍の光」や「仰げば尊し」を耳にし、感動し涙した幼いころを今懐かしんでいる。郷愁を誘うあの歌はいまだに心に染み、口ずさんではその当時の先生たちが走馬灯のように頭をよぎっていく。いまさらながら先生たちの恩恵に頭の下がる思いである。これから親元を離れ実社会に巣立っていく若者は、それまで育ててくれた親のありがたさを常に心の隅に秘めてもらいたいし、ふるさと山田を忘れないでほしいものだ。

齋藤忠雄(船越・84)



RU(8)



蓮猫(14)



石川晴子(4)



unairied(14)



木下葵(10)



佐々木ムツ子(?)



JUMP(?)



天照神(14)



北館芽衣(9)



姫神(14)



マカちゃん(13)



ミニチャお(?)



赤松心菜(7)



KO-DAI(7)



佐々木房子(65)



阿部知生(7)



船越未菜(6)



テニスボーイ(13)



阿部行浩(5)



せきれいと(6)



アンパンマン(10)

山田の朝市が無くなる寂しさ

昔から山田で3と8の付く日に開催されていた朝市が無くなるようです。年々売る人買う人が少なくなり寂しいばかりです。無くしたくない山田の朝市。昔のにぎわいが懐かしいです。

匿名希望(境田町・?)

老人クラブ例会に参加して思うこと

野に出たら春を告げる銀色のネコヤナギを見つけほっとした。
織笠老人クラブの例会が9日、コミュニティセンターで行われました。ひな祭りにあやかり、ひな壁掛けを作り出来栄を喜び合いながら「ひなまつり」の歌を歌い童心の気分に。それからちらし寿司に甘酒、手作りひしもちを会食しながら、余興を楽しみ小さいお祝いムードでした。また、3月といえば頭に刻みこまれているのは「仰げば尊し」です。変わりゆく社会からかなたへ失せていく歌を70代から90代の老人パワーの男女混声で歌いました。むつみ合い、競い合い、泣いたあの日あのときの学びやを、一人一人が胸中の中で...。折に触れて歌い伝えたいものです。おっとりした歌声が会場に流れて感動のうちに、和やかでお開きとなりました。
菊地サカエ(織笠・75)

広報クイズ

2/4

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- ①全国小・中学校・PTA新聞コンクールで日本一に輝いた大沢小の学校新聞は「〇よ光れ」？
 ④山 ③川 ②海
- ②この春、町内小中学校を卒業した児童生徒は全体で〇人？
 ④124人 ③241人 ②421人
- ③船越家族旅行村と花まりんを会場に4月17日から5月5日まで開催されるのは「〇まつり」？
 ④花 ③村 ②春
- ④今号の「1歳になりました」に登場している赤ちゃん9人のうち、女の子は何人？
 ④3人 ③4人 ②5人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、ご応募ください。全問正解者の中から抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。応募は一人1通です。

【応募先】 〒028-1392(住所記載不要) 山田町役場広報クイズ係
 【締め切り】 4月19日(当日消印有効)

☆前回の正解は①-B、②-C、③-A、④-Bでした。応募者数は69人で63人が正解。抽選の結果次の10人が当せんしました。
 境田町=木下葵(10) 長崎=福士玲子(52) 飯岡=木村拓夢(?) 山田=堀合隆一(?) 船越=村木右京(12)、永野真依子(14)、山崎君子(69) 織笠=竹内厚志(55) 大沢=福士和也(13) 豊間根=澤田幸樹(5) <敬称略>

◆投稿規程 ▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷400字を超えた投書は400字程度まで添削いたします。

◆あて先 〒028-1392(住所不要) 山田町役場総務課情報係へどうぞ。

死亡事故ゼロを継続するために

来る4月6日から春の全国交通安全週間を迎えます。今年は宮古警察署、山田町交通安全対策協議会、交通指導隊、県交通安全協会山田支会、さらに母の会と関係機関や事業所などの懸命の活動と努力の甲斐あって、交通死亡事故ゼロを継続しています。これは喜ばしい限りなのですが、これからも続けるために、町民一人一人が交通安全に気を配り児童や高齢者を事故から守りましょう。また、重大事故につながる飲酒運転を絶対しない・させないため、宴会に出席する際はお酒を飲まないで仲間を各自宅に送り届ける責任者の「ハンドルキーパー」を決めることをお願いしたいものです。今年に入り2月末までの2カ月間に町民の方が飲酒運転で検挙された件数が3件もあることは憂慮されることです。これ以上の違反者が出ないことを願いたいものです。

西館隆(船越・?)

津波で被害に遭われた方々に

2月28日、チリ地震による大津波警報が発令されました。50年前、わたしが小学6年生のときにも同様の津波が襲来しランドセルを背負い親と高台に避難しました。海水が引いて、家や船が流されていくのを目の当たりにして、水の勢いは恐ろしいものだという印象が強く残っています。

今回の津波により、養殖施設が被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

上林幸子(北浜町・61)



吉田空(?)



武藤陸(10)



山崎歩見(9)



古明治さと(15)



澤田幸樹(5)



吉田凜(?)



アオパンマン(12)



吉田慧(6)



フリーザ(?)



吉兆(11)



渡辺まりん(7)



TAKACO(10)



佐々木美歌(9)



hunter(12)

やまだ文芸広場

雪解けの水もぬるみて知らぬ間に
 ものの芽も春の支度整えし

内館洋一(飯岡・66)

フクロウのオーホオーホの声聞いて
 早春の朝自転車こぎぬ

大町テイ子(大沢・?)

それぞれの思いを込めてバンクーパー
 歓喜と悲運に涙はやまず

大川ヒメ子(大沢・65)

一年生

初心の気持ちを忘れずに一年生
 生きることに一年生

取り組むことに一年生
 命は一つしかない。

だから大事にしよう一年生
 新しい生活から一年生。

あつたかい春よりあつたかい。
 支えがあつて生きている。

あつたかい支えにありがとう一年生

佐藤啓子(船越・31)

住宅用火災警報器設置の街頭PR 買い物客に設置を呼び掛け

3月6日、山田町婦人防火クラブ連合会（阿部美恵会長）では、道の駅やまだなど町内3カ所で住宅用火災警報器設置の街頭PR活動を行いました。平成23年6月までに義務付けられている同警報器の設置を促進するために行われたもので、町内婦人防火クラブや婦人消防協力隊の隊員など9人が参加。設置を呼びかけるチラシやティッシュペーパーを買い物に来た方々に手渡ししながら「大切な家族を守るため早めに設置しましょう」と訴えていました。



日本赤十字社の活動に長年従事 協賛委員4人に有功章贈呈

長年、日本赤十字社の協賛委員（行政区長）として活躍された方々に有功章が贈られました。受章したのは山根ノブ子さん（飯岡・66）、上館忠孝さん（石峠・84）、後藤清郎さん（飯岡・76）、芳賀敬夫さん（荒川・64）の4人。同委員として20年以上従事された山根さんと上館さんは金色有功章に、15年以上従事された後藤さんと芳賀さんは銀色有功章に選ばれています。3月15日、役場で伝達式が行われ、日赤県支部山田町分区長の沼崎喜一町長から盾と記念品が贈られました。受賞した山根さんは「長年の活動が評価されてうれしい」と話しました。

土砂災害防止絵画コンクール 福士諒君が国交省砂防部長賞

平成21年度土砂災害防止絵画等コンクールで山田南小学校を卒業した福士諒君（現山田中学校1年）が小学生絵画の部で国土交通省砂防部長賞を受賞しました。このコンクールは、未来を担う小中学生に土砂災害についての理解を深めてもらおうと国土交通省が毎年6月に実施しているもので、小学校絵画の部には県内で8校62作品が応募。その中から代表に選ばれた福士君の作品は、見事全国で10人の同賞に輝きました。福士君は小さいころから好きだったパワーショベルカーを力強く描き、今にも動き出しそうな絵が評価されました。福士君は「自分でも満足のいく絵が描けました。全国で10人の中に選ばれてうれしい」と受賞を喜びました。



3月11日、山田南小の校長室で伝達式が行われました（上写真）／国土交通省砂防部長賞に輝いた福士君の作品

各分野での健闘たたえる

平成21年度町教育委員会児童・生徒表彰が、クラブ活動や各種コンクールなどで活躍した児童・生徒に贈られました。受章者と主な成績は次のとおりです。

◆善行表彰 【中学生】▶山田中学校吹奏楽部…「小さな親切」実行章（長年の福祉活動による受章）

◆スポーツ活動 【小学生】▶豊間根小学校(チーム豊間根)…全国小学生クロスカントリーリレー大会出場▶内館奏太(山田南小6年)…スポニチ奥州前沢マラソン大会(ミニマラソンリトルの部)優勝▶佐々木廉(同6年)…同(ミニマラソンリトルの部)2位【中学生】▶山田中学校女子駅伝部…東北中学校女子駅伝競走大会3位▶山田中学校男子ソフトテニス部…県中学校新人大会ソフトテニス競技(男子団体)優勝▶山田中学校女子柔道部…全国中学校総合体育大会柔道競技(団体)出場▶昆充(山田中2年)…東北中学校総合体育大会・東北中学校陸上競技大会(2・3年男子1,500^円)第8位、天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会県代表▶佐々木彩華(同1年)…県中学校総合体育大会陸上競技(1年女子1,500^円)優勝▶福士泰佳(同2年)…県中学校総合体育大会柔道競技(個人)優勝▶佐々木滯(同1年)…県中学校新人大会柔道競技(個人)優勝▶箱石知里(同1年)…同大会柔道競技(個人)優勝

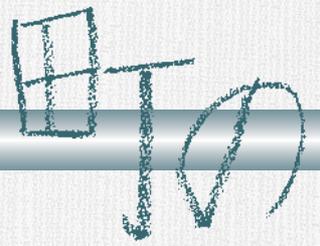
◆文化活動 【小学生】▶大沢小学校児童会…全国小・中学校・PTA新聞コンクール(小学校・学校新聞の部)内閣総理大臣賞▶福士諒(山田南小6年)…土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文コンクール(絵画の部)国土交通省砂防部長賞▶中村奈緒、武藤愛(大沢小5年)…全国教育美術展(小学校の部)入選▶大川莉穂(同6年)…県小・中学校新聞コンクール(小学校6年・個人新聞の部)優秀賞▶小原麻里衣(同5年)…同コンクール(小学校5年・個人新聞の部)優秀賞▶大川海成(同)…同コンクール(小学校5年・個人新聞の部)優良賞、全国教育美術展(小学校の部)入選▶沼崎久依(織笠小3年)…青少年読書感想文岩手県コンクール(小学校中学年部門)最優秀賞▶平澤菜由子、佐々木七佳、阿部蛭如(大浦小6年)…県統計グラフコンクール(小学校5・6年生の部)特選【中学生】▶深澤楓(豊間根中1年)…県食育標語コンクール入賞▶内館美佐(同2年)…県心の輪を広げる体験作文コンクール(中学生部門)優秀賞▶伊藤瞳、伊藤美香(同3年)…中学生の税についての作文コンクール岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞▶伊藤流華(同2年)…全国中学生人権作文コンテスト県大会盛岡地方務局長賞▶勝山美穂(同3年)…同コンテスト県大会岩手県人権擁護委員連合会会長賞▶高橋はるか(山田中3年)…私の主張県大会優秀賞▶佐藤南美(同1年)…NPO法人東北青少年音楽コンクール本選会(ピアノC部門)銀賞▶山田中学校吹奏楽部…全日本アンサンブルコンテスト東北大会(打楽器六重奏)銀賞【高校生】▶伊藤美保子(宮古高2年)…NHK杯全国高校放送コンテスト(朗読部門)入選▶西村美佑紀、横田瑞穂(同3年)…同コンテスト(テレビドキュメント部門)出場

〈敬称略、学校名・学年は平成21年度のものです〉

※体育協会表彰は、3月31日発行の「体育協会だより」に掲載されています。



今月の題字
金浜大裕くん
(船越小1年)



町内11の小中学校で卒業式 希望を胸に新たな巣立ち

3月13日から19日にかけて町内11の小中学校で卒業式が行われ、全体で421人(男201人、女220人)が卒業しました。13日には豊間根中学校で式が行われ、畠山美千枝校長が「この学校で3年間学んだことは最高の財産。これから多くの経験を積み、一輪の花を咲かせてください」と激励し、30人の卒業生一人一人に卒業証書を手渡しました。また、19日には織笠小学校で16人が卒業を迎えました。薄衣裕昭校長から一人一人卒業証書を受け取り「皆さんのおかげでこの日を迎えられました。夢と希望と人を思いやる優しい気持ちを持ち、一歩ずつ前進します」と全員で門出の言葉を述べました。卒業生たちはたくさんの思い出が詰まった校舎に別れを告げ、この春から希望を胸にそれぞれの進路へと巣立っていきます。



織笠小の卒業生一人一人に薄衣校長から卒業証書が手渡されました(左写真) / 文化祭で歌った思い出の「大地賛頌」を全員で合唱する豊間根中の卒業生



海釣りの楽しさ 体験しませんか

家族や釣り愛好者(初心者)向けの体験教室「海釣り道場」を開催します。お気軽にご参加ください。

- ▷日時 4月24日(土)午後2時～25日(日)正午
- ▷集合場所 陸中海岸青少年の家
- ▷対象 小学生以上
- ※小学4年生以下は保護者同伴とします。

- ▷定員 各コース30人
- ▷コースと参加料 船釣り…8,050円 堤防釣り…2,950円(宿泊費、食事代など)
- ▷持参する物 釣り用具(堤防釣りコースは貸し出し可)、雨具、洗面用具、保険証など
- ▷申し込み方法 4月10日から18日までに電話で仮予約し、前納金(船釣り…5,000円、堤防釣り…1,000円)を振り込んでください。

◆**申込先・問い合わせ** 陸中海岸青少年の家(☎84-3311)へ。

文学賞受賞図書展 町立図書館で開催

平成20年以降に国内外で文学賞・文化賞を受賞した県立図書館所蔵の作品を展示します。

- ▷期間 4月16日～25日
- ▷時間 午前9時～午後5時
- ▷場所 町立図書館(町中央コミュニティセンター内)

※展示本の貸し出しはしません。
◆**問い合わせ** 町立図書館(☎82-3420)へどうぞ。

船越公園区域変更 計画案にご意見を

町では、船越公園の区域を変更する都市計画案の縦覧を行い、町民の皆さんからの同案についての意見を受け付けます。

- ▷縦覧・意見受付期間 4月13日～27日
- ▷縦覧場所 町建設課、県宮古土木センター、県都市計画課

◆**問い合わせ** 町建設課計画補償係(内線241)へどうぞ。



人権擁護委員
まさひろ
佐々木正弘さん

人権擁護委員に佐々木さんを再任

佐々木正弘さん(67)＝豊間根＝が、このほど人権擁護委員に再任され、法務

ときは、救済のため適切な処置を取ることを任務としています。本町には、佐々木さんのほかに4人が人権擁護委員に委

大臣から4月1日付で委嘱されました。任期は向こう3年間です。人権擁護委員は、わたしたちの基本的な人権が侵されないように監視し、万が一侵害された

嘱されています。皆さんが困っている家庭内や近隣関係などの問題をはじめ、土地や交通事故などに関する相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

- ◆**本町の人権擁護委員(敬称略)**
- ▽吉田徳右工門(☎84-2549)
- ▽佐々木正弘(☎86-2142)
- ▽貫洞征功(☎82-5261)
- ▽狩野眞理子(☎82-5743)
- ▽八木善政(☎82-3550)

町有地を売却します

購入希望者は申し込みを

町では、町有地を抽選により売却します。購入を希望する方は、現地と購入条件を事前にご確認の上、お申し込みください。なお、購入条件など詳しくは、町企画財政課に備え付けの募集要領、または町ホームページをご覧ください。

- ▷売却物件 右表のとおり
- ▷申し込み方法 町企画財政課に備え付けの公募抽選申込書に必要事項を記入し、住民票を添えて提出してください。
- ▷申込期間 4月5日～30日(土・日曜日、祝日を除く午前8時半～午後5時半)

抽選会

- ▷日時 5月25日(火) 午前10時～
- ▷場所 役場3階大ホール

現地説明会

- ▷日時 5月12日(水) 午前10時～
- ▷場所 現地に職員が待機していますので、直接お越しください。

◆売却物件

土地の所在地	面積	価格
山田町豊間根2-98-30	273.21㎡	4,316,000円
山田町豊間根2-98-31	273.20㎡	4,316,000円
山田町豊間根2-98-31	308.30㎡	4,871,000円

◆売却物件の位置図



◆**申込先・問い合わせ** 町企画財政課管財係(☎82-3111内線423)へどうぞ。

おしらせ



まちで出会ったかわいい笑顔

免許自主返納者に 三鉄運賃割引

三陸鉄道では、4月1日から「運転免許返納シルバー割引」を実施します。

▷対象者 自動車運転免許を自主返納し運転免許経歴証明書の発行を受けた65歳以上の人
▷対象区間 三陸鉄道北リアス線(宮古～久慈)、南リアス線(釜石～盛)

▷対象切符 回数券を除く通勤定期乗車券(本人記名式のもの)と普通乗車券

▷割引率 50%割引

▷割引方法 警察署(公安委員会)で発行する運転免許経歴証明書を、切符販売窓口または降車時に提示してください。

◆問い合わせ 三陸鉄道(株)総合企画部(☎62-8900)へ。

県内就職希望の方 面接会にご参加を

県内就職希望者を対象に「いわて就職面接会」が開かれます。

▷日時 4月14日(水)

午後1時～5時

▷場所 岩手産業文化センターアピオ(滝沢村)

▷対象 来年3月に大学(院)、短大、高専、専門学校などを卒業見込みの人、一般求職者で県内に就職希望の人

▷内容 参加企業との個別面談、ハローワークによる職業相談、コンピューター適職診断など

◆問い合わせ (財)ふるさといわて定住財団(☎019-653-8976)へどうぞ。

4月の町長面談日

▷日時 4月15日(木)

午前10時～正午

▷場所 役場4階特別応接室

※面談希望の方は町総務課内線413へご連絡ください。

各種相談あります お気軽にご利用を

◎多重債務者弁護士無料相談

県では、多重債務で困っている方を対象に、弁護士による無料相談会を実施します。

▷期日 4月27日(火)、5月25日(火)、6月22日(火)

▷時間 午前10時～午後3時

▷場所 宮古地区合同庁舎(宮古市五月町)

◆申込先・問い合わせ 実施日の前日までに県宮古地域振興センター消費生活相談室(☎64-2211)へどうぞ。

◎ヨイ歯デーテレホン相談

4月18日の「ヨイ歯デー」にちなみ、歯や口の中の健康に関する無料電話相談を開設します。

▷相談電話 019-651-7341

▷日時 4月16日(金)

午前10時～午後8時

※相談に対する回答は、午後7時以降に協会歯科医師から相談者に電話します。

◆問い合わせ 岩手県保険医協会歯科部会(☎019-651-7341)へどうぞ。

消費者問題解決に 協力する方を募集

県民生活センターでは、地域で消費者問題解決のために活動していただく「消費生活サポーター」を募集します。

▷応募資格 20歳以上の町民

▷募集人数 1人

▷任期 委嘱した日から平成24年3月31日まで

▷活動内容 ①地域住民へ消費生活に関する情報の提供②悪質業者などの情報提供③地元スーパーなどでの価格表示の状況調査④同センターが実施する講座への参加

▷応募方法 4月15日までに電話でお申し込みください。

▷申込先 町町民課住民相談係(内線125)

◆問い合わせ 県民生活センター(☎019-624-2586)へ。

町で期限付臨時 職員を一般公募

町では、期限付臨時職員を一般公募します。選考方法は書類審査(履歴書)と面接です。

▷職種 一般事務補助

▷募集人数 1人

▷勤務場所 町民課

▷応募資格 町内に住所があり、パソコンの操作ができる人

▷賃金 日額5,400円

▷任用期間 5月1日～10月31日(必要に応じ最長で12カ月間まで期間が延長されます)

▷応募方法 町町民課または役場各支所に備え付けの履歴書に必要事項を記入し、町総務課に提出してください。

▷申込期限 4月14日

◆問い合わせ 町町民課住民記録係(内線121)へどうぞ。

盛岡市でボイラー 実技講習会を実施

2級ボイラー技士の受験資格が得られる講習が実施されます。

▷期間 第1回…4月24日～26日 第2回…5月29日～31日 第3回…6月26日～28日

▷時間 午前9時～午後5時

▷場所 岩手教育会館(盛岡市)

▷受講料 19,000円(テキスト代を含む)

▷定員 各回とも60人(先着順)

▷申込期限 第1回…4月19日 第2回…5月24日 第3回…6月21日

◆申込先・問い合わせ (財)日本ボイラー協会岩手支部(☎019-624-5139)へどうぞ。

労働保険などの 納付は6月から

平成21年度から労働保険などの年度更新申告と納付時期が変更になり、本年度は6月1日～7月12日となっています。お間違えのないようご注意ください。

◆問い合わせ 岩手労働局(☎019-604-3003)へどうぞ。

県議会への意見 お寄せください

県議会と県民との意見交換会「本音で語ろう県議会」が開催されます。皆さんの意見や提言などを、県議会議員がお聞きします。どなたでも参加でき、申し込みは不要です。

▷日時 4月28日(水)

午後6時半～8時半

▷場所 宮古地区合同庁舎(宮古市五月町)

◆問い合わせ 県議会事務局(☎019-629-6021)へ。

引越しをする際は 手続きを忘れずに

引っ越しをする際は役場への届け出が必要です。住所変更の手続きは忘れずに行いましょう。町外へ引っ越す方は、転出先が決まったら転出届を提出してください。その際に引っ越し先での転入手続きに必要な転出証明書を発行しますので、引っ越してから14日以内に転入の手続きを行ってください。

また、町内での引っ越しの場合でも手続きが必要です。引っ越してから遅くとも14日以内に転居届けを提出してください。

▷持参する物 ▶印鑑▶運転免許証など身分を証明できるもの▶印鑑登録証や各種医療受給者証(お持ちの方)▶委任状(別世帯の方が代理で手続きをする場合)

※国保に加入している方は保険証を返却してください。ただし、就学のため町外に引っ越す方には学生用の保険証を交付しますので、入学を証明する書類を持参してください。

▷受付時間 午前8時半～午後5時半(土・日曜日、祝日を除きます)

◆手続き先・問い合わせ 町町民課窓口係(1番窓口・内線124)、役場豊間根支所(☎86-2111)、役場船越支所(☎84-3232)へどうぞ。



個別補償モデル対策が 4月から実施されます

米のモデル事業

(米戸別所得補償モデル事業)

4月から、農業の新しい制度「戸別所得補償モデル対策」が実施されます。農業者の減少や高齢化、農業所得の減少といった危機的状況にある農業を、食料自給率の向上とともに再生させることを目的に実施されるものです。来年度の本格実施に向け、「米戸別所得補償モデル事業」と「水田利活用自給力向上事業」の2つの事業がセットで行われます。

自給率向上のための環境整備を図るため、米の生産数量目標に従って生産する販売農家の皆さんに対し支援をします。米の価格が下落した場合には、追加の補てんも行います。▽交付単価(全国一律/10㍗当たり)・定額部分：1万5千円

・変動部分：22年度の販売価格が、過去3年間の販売価格を下回った場合に、その差額を基に算定
▽交付対象者 「生産数量目標」の範囲内で主食用米の生産を行った販売農家のうち、水稲共済加入者または平成21年度の出荷・販売の実績がある方

自給率向上事業

(水田利活用自給力向上事業)

自給率向上のために水田で麦・大豆・米粉用米・飼料用米などを生産する販売農家の皆さんに対し、主食用米と同等の所得を確保できる水準の支援を行います。

▽交付単価(全国一律/10㍗当たり)
・麦、大豆 4万5000円
・飼料作物 2万7400円
・その他作物 5000円~1万2000円

申請が必要でず

モデル対策に加入し、交付金を受け取るためには、6月末までに申請が必要です。対象者には申請書類を5月中に送付しますので、加入を希望する方は申請してください。

◆問い合わせ 岩手農政事務所個別補償制度モデル対策推進室(☎019-624-1125)または町農林課農業振興担当(☎82-3111内線212)へどうぞ。

農業労賃標準額が改定

平成22年度の町農業労賃標準額が次のとおり決まりました。適用期間は4月1日から来年3月31日までです。雇う人も雇われる人も標準額を守りましょう。

◆機械の部

種別	使用機械・区分	単位	標準額	
水田作業	耕起	耕運機およびトラクター	10㍗ 5,900円	
	代かき	〃	〃 6,700円	
	くろぬり	くろぬり機	1㍗ 50円	
	田植え	田植機	10㍗ 6,500円	
	刈り取り結束	バインダー	〃 7,300円	
	刈り取り脱穀	コンバイン	5㍗未満	〃 17,000円
			10㍗未満	〃 16,000円
			10㍗以上	〃 15,000円
	乾燥	乾燥機	〃 7,400円	
	脱穀	全自動脱穀機	1時間 4,000円	
転作田草刈り	特に設定なし	10㍗ 5,000円		
畑作業	全般	耕運機およびトラクター	〃 5,800円	
	種まき	コーンプランター	〃 3,000円	
	刈り取り	コーンハーベスター	〃 9,000円	
	牧草こん包	ロールベアラ	1個 1,500円	
共通	牧草ラッピング	ラッピングマシン	〃 1,500円	
	たい肥散布	マニアスプレッター	10㍗ 3,000円	

- 注1 標準額には、オペレーター賃金と燃料費が含まれる。
注2 湿田の耕起、刈り取り脱穀(コンバイン)は1,000円増しとする。
注3 刈り取り結束(バインダー)の結束用縄代は、委託者負担とする。
注4 牧草こん包(ロールベアラ)の基準は1㍗×1㍗とする。
注5 牧草ラッピングは、ラップフィルム代を含む。
注6 5㍗未満の代かきは、1割増しとする。
注7 もみの運搬費用は、10㍗当たり1,000円とする。
注8 その他詳細については、両者の話し合いで決めることとする。

◆人力の部

種別	金額	標準額 (1日8時間)	超過額 (1時間当たり)
水田作業		5,200円	800円
畑作業		5,100円	800円

- 注1 畑作業のパートは1時間当たり650円とする。
注2 超過額は1日8時間を越えた場合1時間単位で加える。

◆問い合わせ 町農業委員会事務局(☎82-3111内線214)へどうぞ。

固定資産課税台帳の縦覧制度

自分の資産を確認できます

町では、平成22年度の土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧を行います。この縦覧制度は、納税者が所有する固定資産（土地・家屋）の価格が適正かどうか判断するために、縦覧名簿によりほかの固定資産の評価額や面積などをご覧いただける制度です。ただし、所有者名や課税内容は見るできません。

なお、地域ごとの宅地の標準的な価格は、路線価図の公開制度で閲覧することができます。

▷縦覧期間 4月1日～30日（土・日曜日、祝日は除く）

▷縦覧時間 午前8時半～午後5時半

▷縦覧場所 町税務課

▷縦覧できる人 納税義務者、納税管理人、代理人など
※納税通知書または運転免許証・保険証など、本人の確認ができるものをお持ちください。なお、代理人の場合は委任状が必要となります。

船越地区（1～17地割）の課税面積が 国土調査完了により変更になります

昨年、船越地区（船越第1地割から第17地割）の国土調査が終了したことに伴い、固定資産税の土地の課税面積が、国土調査前の面積から調査後の面積へと変更になります。調査前より調査後の土地の面積が増えた方は、昨年と比べて固定資産税が上がる場合があります。詳しくは町税務課資産税係までお問い合わせください。

◆問い合わせ 町税務課資産税係（☎82-3111内線113）
へどうぞ。

町の雇用対策

2つの事業を新たに実施

町では、新たな雇用対策として、本年度次の2つの事業を実施します。申請方法など詳しくはお問い合わせください。

新卒者ふるさと就職促進奨励金

新卒者の雇用の促進を図るため、新卒者を採用した事業主にに対し、奨励金を交付します。

▽補助対象事業主 町内および宮古市、大槌町、釜石市の事業主

▽対象となる新卒者 町内在住か山田町出身で、平成21年度に中学校や高校、大学、専門学校などを卒業し、2月8日から6月19日までに採用内定を受けた人

▽奨励金額 1人につき48万円

離職者資格取得支援事業補助金

離職者の就業を支援するため、資格や免許の取得のために要した経費に対し、補助金を交付します。

▽補助対象者 町内在住の離職者で、宮古職業訓練協会または釜石職業訓練協会にて実施する離職者を対象とした職業訓練過程を受講し、資格や免許を取得した人

▽補助対象経費 受験料やテキスト代、保険料など

▽補助金額 補助対象経費の3分の2（上限20万円）

◆問い合わせ 町水産商工課商工労働係（☎82-3111内線224）
へどうぞ。

低所得者の介護保険料減免制度

対象となる方は お早めに手続きを

町では、収入が一定以下の方を対象に、介護保険料の軽減制度を行っています。対象となるのは、老齢福祉年金受給者および老齢福祉年金以下の収入で、一定条件を満たしている人です（下表参照）。

保険料の減額を受けるためには本人の申請が必要となりますので、対象となる方はお早めに手続きを行ってください。

◆問い合わせ 町国保介護課介護保険係（☎82-3111内線134）へどうぞ。

◆介護保険料軽減制度の概要

区分	軽減の対象となる人	軽減の内容
I	1 老齢福祉年金受給者で本人および世帯全員が非課税 2 老齢福祉年金以下の収入で、次の4つの要件をすべて満たし、生活保護を受けていない人。▶世帯全員が住民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下（3人目から1人につき40万円を加算）▶住民税課税者に扶養されていない▶100万円以上の預貯金など一定以上の資産を所有していない——人	保険料段階第1段階の半額の保険料相当額に軽減（年額24,000円→12,000円に軽減）
II	1 災害により著しい損害を受けたとき 2 世帯生計維持者の死亡または長期入院などで収入が著しく減少したとき 3 世帯生計維持者の収入が事業の休止、失業などにより著しく減少したとき 4 世帯生計維持者の収入が不漁、不作などにより著しく減少したとき	本来納めるべき保険料段階から1段階分軽減
III	保険料段階が第3段階で、次の4つの要件をすべて満たす人。▶世帯全員が住民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下（3人目から1人につき40万円を加算）▶住民税課税者に扶養されていない▶100万円以上の預貯金など一定以上の資産を所有していない——人	保険料段階第3段階を第1段階の保険料に軽減（年額36,000円→24,000円に軽減）



ゴミ問題をテーマとした豊間根小での出前講座（昨年8月）

◆担当課と講座のテーマ例

担 当 課	テ ー マ の 例
総 務 課	町の行政組織、防災、行政改革、情報公開、個人情報保護、統計など
企 画 財 政 課	町の財政、町の発展計画、町有財産、住民協働など
税 務 課	税の役割、町税のしくみなど
農 林 課	農林業の現状、森林の役割、特用林産物など
水 産 商 工 課	漁業の現状、商工業の現状、町の観光業や観光施設など
町 民 課	環境問題、ごみの分別とリサイクル、地域安全(防犯、暴力追放)、年金など
国 保 介 護 課	国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の仕組みやサービスなど
健 康 福 祉 課	健康づくり、健康相談、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て相談など
建 設 課	土地区画整理事業、道路整備事業、国土調査など
上 下 水 道 課	水道施設の概要、下水道事業など
消 防 防 災 課	救急講習会、消火器の取り扱いなど
議 会 事 務 局	町議会の役割と活動内容
選挙管理委員会事務局	選挙の仕組み、選挙制度など
監 査 委 員 事 務 局	監査委員の役割と活動内容
農 業 委 員 会 事 務 局	農業委員会の役割と活動内容
学 校 教 育 課	学校教育、日蘭交流など
生 涯 学 習 課	町の史跡や歴史、各種スポーツ講座、鯨と海の科学館体験コーナーなど

まちづくり出前講座 どうぞご利用ください

町では、町職員による「まちづくり出前講座」を実施しています。同講座は、町で行うさまざまな制度や政策について町民の皆さんに情報を提供し、広く町政に関する理解を深めて、住民協働を推進することを目的としたものです。

町内に住む5人以上の団体やグループなどであればどなたでも開催することができ、講座の内容は受講する皆さんのご要望に応じて、各担当課の職員が説明にお伺いします。なお、この講座は皆さんの相談や要望などをお聞きするものではありませんのでご理解をお願いします。同講座の開催を希望する方は、開催を希望する日の2週間前までにお申し込みください。

◆申込先・問い合わせ 町企画財政課住民協働推進係（☎82-3111内線425）へ。

▽開催できる時間 ▽平日：午前10時～午後9時 ▽土曜日：日曜日・祝日：午前10時～午後4時

※開催時間は講座1回につき原則2時間以内としてください。

▽開催場所 町内の公共施設や事業所の会議室、学校など（個人のお宅では行いません）

※会場の確保や開催告知など、講座を行うための準備は主催者側で行ってください。

▽申込方法 町企画財政課、町民課、役場各支所に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し提出してください。

住民協働推進支援事業

自治会などの活動に補助金

町では、自治会などの活動に対し補助金を交付します。本年度（4月1日～来年3月31日）に行われる事業の申請の受け付けを6月30日まで行いますので、補助金の交付を希望する団体は期日までに申請書を提出してください。

▷対象団体 自治会、コミュニティ、自主防災組織、NPOなど（産業団体など営利法人は対象外です）

▷補助内容 審査委員会により事業内容などが審査され、認められた費用の5分の4以内の額が交付されます。

※補助金は団体ごとに交付されますが、年間で1団体に交付できる金額の総額には上限があります。対象世帯数により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

◆申請先・問い合わせ 町企画財政課住民協働推進係（☎82-3111内線425）へどうぞ。

◆対象となる事業内容の例

項 目	対象事業および事業内容の例
地 域 づ くり	地域づくり計画の策定・周知、地域ワークショップの開催、地域性を生かしたイベントの開催など
地 域 福 祉	各種健康づくり運動、世代間交流活動、地元食材を使用した料理教室など
環 境 衛 生	ごみ減量化と適正分別への取り組み、ごみステーションの適正管理、廃棄物の不法投棄監視活動、買い物袋持参運動など
生 涯 学 習 ・ 生 涯 ス ポ ーツ	お祭り・盆踊り大会の開催、地域リーダー研修会への派遣など
防 災 ・ 安 全	地域で独自に行う避難訓練、防災資器材の整備、道路の草刈りや除雪、登下校時間帯の地域内の見回りなど
産 業 振 興	地場製品の消費拡大や生産意欲の向上に関する取り組みなど

4月1日付

町職員の人事異動

◆**総務課**▷課長補佐・行政チームリーダー(同課住民協働推進室長)菊池利博▷危機管理室長兼情報チームリーダー(選挙管理委員会事務局次長)白土靖行▷情報係長(同課上席副主幹)福士優子▷行政係長(同課上席主査)阿部説子▷秘書係長(同課上席主査)中屋佳信◆**企画財政課**▷課長(会計管理者兼税務会計課長)川村均▷課長補佐兼財政係長(企画財政課課長補佐)佐藤義雄▷課長補佐・政策推進チームリーダー兼政策推進係長兼住民協働推進係長(税務会計課課長補佐)佐々木實▷管財係長(同課上席主査)古館隆▷電算係長(同課主査)船越海平▷主任(同課主事)田畑作典◆**税務課**▷会計管理者兼課長(税務会計課収納対策主幹兼収納対策室長)福士丈二▷収納対策室長兼収納係長(税務会計課課長補佐兼収納対策室長補佐)上林浄▷課長補佐・会計チームリーダー兼会計係長(税務会計課課長補佐)佐藤正彦▷課長補佐・課税チームリーダー兼町民税係長(産業振興課上席主査)佐々木真悟▷資産税係長(税務会計課上席副主幹)川石昭人▷主任(産業振興課同)阿部敏紀▷主任(税務会計課同)鳥居義光▷主任(税務会計課同)道又聡▷主任(税務会計課同)小原裕毅▷主任(税務会計課同)橋端敏明▷主任(税務会計課同)佐々木克博▷主事(総務課同)箱石智生▷主事(住民生活課同)佐々木剛▷主事(税務会計課主事補)黒沢和也▷主事(税務会計課主事補)佐藤肇▷主事(税務会計課同)芳賀久美子◆**農林課**▷課長兼農業委員会事務局局長(住民生活課長)千代川博一▷課長補佐・農林チームリーダー(産業振興課課長補佐)花坂惣二▷農業振興係長(産業振興課上席副主幹)佐々木清一▷林業振興係長(産業振興課上席主査)川守田正人▷獣医副主幹(産業振興課同)塚本繁▷主事(住民生活課同)三田地雅子▷主事(産業振興課同)加藤周平◆**水産商工課**▷課長(産業振興課長兼農業委員会事務局局長)宇澤正二▷課長補佐・水産チームリーダー(産業振興課課長補佐)伊藤勝幸▷課長補佐・商工観光チームリーダー兼観光振興係長(産業振興課課長補佐)鈴木隆康▷商工労働係長(産業振興課主査)後藤清悦▷水産振興係長(産業振興課主任)武藤嘉宜▷水産専門員(産業振興課主事)藤岡高昌▷主任(産業振興課主事)村上学▷主事(産業振興課主事補)蛇子準哉◆**町民課**▷課長(保健福祉課課長補佐)関清貴▷課長補佐・住民記録チームリーダー兼窓口係長(保健福祉課課長補佐)菊地清文▷課長補佐・生活安全チームリーダー兼住民相談係長(住民生活課課長補佐)中村剛▷住民記録係長(船越支所長兼船越公民館長)白土まさ子▷地域安全係長(住民生活課上席副主幹)阿部敏文▷環境衛生係長(住民生活課上席主査)木村庸助▷主任(住民生活課同)佐々木満▷主任(保健福祉課同)佐々木由美子▷主事(住民生活課主事補)伊藤久美子▷主事(住民生活課主事補)千代川弥樹▷主事(住民生活課同)角田廉子◆**船越支所**▷支所長兼船越公民館長(住民生活課副主幹)佐々木茂子◆**国保介護課**▷課長(企画財政課課長補佐)豊間根和博▷課長補佐・国保チームリーダー兼医療給付係長(住民生活課課長補佐)沼崎弘明▷課長補佐・地域包括支援センターチームリーダー兼介護チームリーダー(保健福祉課上席保健副主幹)昆博子▷介護保険係長(保健福祉課上席副主幹)松崎由美子▷国民健康保険係長(住民生活課上席副主幹)関民子▷主任保健師(住民生活課同)濱登新子▷主任(保健福祉課同)大川修一▷主事(生涯学習課社会教育主事)五十嵐亮▷保健師(保健福祉課同)関文恵▷主事(保健福祉課同)後藤茂典▷主事(住民生活課同)阿部寛子▷主事(住民生活課同)佐々木智見▷主事(保健福祉課同)昆美穂▷主事(住民生活課主事補)佐々木正隆▷主事補(保健福祉課同)中村藍子▷主事補(保健福祉課同)田老千聖◆**健康福祉課**▷課長兼関口児童館長(保健福祉課長)里館誠一▷課長補佐・福祉チームリーダー(企画財政課課長補佐)佐藤克典▷課長補佐・健康チームリーダー兼地域医療推進室長(保健福祉課課長補佐)澤木次博▷健康管理係長・地域医療推

進室兼務(保健福祉課上席副主幹)佐々木千恵▷健康づくり係長・地域医療推進室兼務(保健福祉課上席保健主査)菊池ひろみ▷食育推進係長(保健福祉課上席管理栄養副主幹)吉嶋和子▷高齢者福祉係長(保健福祉課上席副主幹)豊間根幸子▷児童福祉係長(保健福祉課上席副主幹)関晃▷地域福祉係長(保健福祉課上席主査)齊藤洋一▷保健主査(保健福祉課同)寶洋子▷主任(保健福祉課同)佐々木幸博▷主任・地域医療推進室兼務(企画財政課同)芳賀善一▷主任管理栄養士(保健福祉課同)小笠原雅代▷保健師(保健福祉課同)佐々木裕子▷保健師(保健福祉課同)中村貴恵▷保健師(保健福祉課同)刈屋深雪▷主事(保健福祉課同)佐藤誠也◆**織笠保育園**▷保育主査(同園主任保育士)山崎智子▷保育主査(同園主任保育士)関菜利◆**建設課**▷課長(地域整備課同)柏谷明久▷課長補佐・建築住宅チームリーダー(地域整備課課長補佐)芳賀俊明▷課長補佐・土木チームリーダー兼土木係長(地域整備課課長補佐)阿部秀一▷課長補佐・都市整備チームリーダー兼区画整理係長(地域整備課上席技術副主幹)澤山満▷計画補償係長(地域整備課上席主査)長嶺泰弘▷建築住宅係長(地域整備課上席技術主査)佐々木政勝▷国土調査係長(住民生活課主任)川口徹也▷庶務係長(地域整備課上席副主幹)伊藤多喜夫▷副主幹(企画財政課同)糠盛勝彦▷主任技師(地域整備課同)山崎智▷主任(地域整備課同)志和一実▷主任(水道事業所同)山崎公生▷主任(地域整備課同)伊藤尚生▷主任(企画財政課同)小林大司▷技師(地域整備課同)瀬川智一▷技師(地域整備課同)坂本大弥▷主事(地域整備課同)横田龍寿▷主事(地域整備課同)花崎和博◆**上下水道課**▷課長(水道事業所長)沼崎初志▷課長補佐・下水道チームリーダー(地域整備課課長補佐)佐藤久雄▷課長補佐・上水道チームリーダー兼工務係長(水道事業所次長)岡市善敏▷維持係長(水道事業所上席副主幹)川部利一▷上水道庶務係長(水道事業所上席主査)甲斐谷芳一▷下水道庶務係長(地域整備課上席主査)昆健祐▷整備係長(地域整備課上席技術副主幹)佐々木達彦▷副主幹(水道事業所同)横田幸憲▷主任技師(地域整備課同)佐藤哲也▷主任(水道事業所同)中村正明▷主任(税務会計課同)柏谷訓正▷主事(水道事業所同)木戸脇大輔▷主事補(水道事業所同)佐藤文哉◆**議会事務局**▷事務局長(総務課課長補佐)尾形英一▷主任(学校教育課同)佐々木宣男◆**選挙管理委員会事務局**▷事務局次長(地域整備課主任)野口伸◆**監査委員室**▷室長(税務会計課上席副主幹)昆秀樹◆**学校教育課**▷教育次長兼課長(課長補佐)甲斐谷義昭▷課長補佐・学校教育チームリーダー兼総務係長(同課上席副主幹)倉本收郎▷国際交流係長(地域整備課主任)佐藤友幸▷主任(議会事務局同)加藤紀彦◆**生涯学習課**▷課長補佐兼文化係長(同課課長補佐)菊地光明▷社会体育係長(同課上席副主幹)武藤圓悦▷社会教育係長(同課上席副主幹)昆公夫▷社会教育主事(同課主事補)小成勝也◆**岩手県地方税特別滞納整理機構派遣**▷主任(税務会計課同)川村聡◆**岩手県後期高齢者医療広域連合派遣**▷主任(同連合主事)武藤美奈子◆**消防防災課**▷課長補佐兼消防防災チームリーダー・三浦晃▷防災第一係長・内田信也▷防災第二係長・榎原亮▷防災第三係長・上澤隆▷防災第四係長・岩花一則▷主査・佐藤正彦▷主任・長谷川勝人▷主任・高橋晃▷主任・山口淳▷主任・大久保貴幸▷主事・八重樫勝利▷主事・佐々木圭一▷主事・川島巧▷主事・湊貴之◆**新採用**▷企画財政課主事補・笹原祐起▷水産商工課主事補・赤崎友康▷町民課主事補・中村琴美▷健康福祉課保健師・尾無徹▷生涯学習課主事補・瀬川富博◆**退職**(3月31日付)▷企画財政課長・昆和章▷産業振興課水産振興主幹・内田明▷議会事務局長・阿部利行▷教育次長兼学校教育課長・菊地新一郎▷住民生活課課長補佐・阿部敏博▷保健福祉課児童専門員・上野美智子▷地域整備課課長補佐・竹内幸司▷監査委員室長・佐藤吉正▷住民生活課副主幹・藤井憲郎▷船越保育園上席保育主査・長嶺美代子▷織笠小学校校務員・中嶋るみ子

船越家族旅行村

花まつり

期間 **4月17日[土]~5月5日[祝]**

場所 **船越家族旅行村、花まりん**



ショー
5月5日(祝)午前11時~



松本哲也コンサート
5月4日(祝)午前11時~

船越家族旅行村では「花まつり」を開催します。期間中は、会場で花の苗や植木などを販売するほか、たくさんのイベントを用意して皆さんをお待ちしております。どうぞお越しください。

◆イベント (当日の天候によって中止・変更もあります)

期 日	開催時間と内容
4月17日(土)	午後1時 開会セレモニー、アトラクション(山田町第一保育所虎舞、宮古工業高校一心太鼓、宮古水産高校宮水太鼓ほか)、祝いまぎ
4月17日(土)~18日(日)	午後7時~8時 桜の木ライトアップ ※17日はさくら亭で琴の演奏を行います。
29日(祝)	午前8時 パークゴルフ大会(先着80人) 午後3時 持ち帰り自由スイセン祭り
5月3日(祝)~5日(祝)	午前9時 押し花展、押し花体験(材料代~午後4時 は実費負担) ※4日と5日は山田中と山田高生徒による茶道の実演・体験会を行います。
5月4日(祝)	午前10時 花より団子フェア(郷土の団子即売会) 午前11時 松本哲也コンサート 正 午 郷土芸能まつり(山田大神楽、愛宕青年会八木節、さんさ好み)
5月5日(祝)	午前10時 ちびっこ縁日 午前10時半 山田境田虎舞演舞 午前11時 マブリットキバショー 正 午 もちつき・振る舞い 午前10時~午後2時 動物ふれあい広場

◆問い合わせ 船越家族旅行村「花まつり」実行委員会(町水産商工課内・☎82-3111内線223)へ。

消防団員を募集

あなたの情熱をください——。山田町消防団では、明日を担う消防団員を募集しています。地域の皆さんの生命と財産を守るため、あなたの力が必要です。安心・安全なまちづくりのため、共に活動しませんか。入団を希望する方は最寄りの消防団の分団長または団員



へ直接お申し込みください。
◆問い合わせ 山田消防署(☎82-3139)へどうぞ。



日夜訓練に励む消防団員に激励を(昨年度の分列行進)

◆期日 4月18日(日)
◆時間と内容 【山田南小学校校庭】▽部隊編成・開会行事
：午前8時~▽点検：午前9時5分~▽訓練(小隊訓練、消防ポンプ操法、織笠婦人防火クラブによる救急訓練、山田幼稚園幼年消防クラブによる遊戯と防火呼び掛け)：午前9時45分~【船越地区国道45号(ワイ・ショップ川村付近)船越駅前】▽分列行進：午前11時10分~【船越漁港】▽放水訓練(ポンプ自動車13台による一斉放水訓練、田の浜婦人消防協力隊による初期消火訓練)：午前11時40分~

消防団員が日ごろの訓練の成果を披露する町消防演習が開かれます。どうぞご観覧ください。

町消防演習を開催



春の風物詩をお楽しみください
(昨年度のアサリまつり)

春のイベントとして恒例のアサリまつりが、今年も織笠川河口干潟を会場に開催されます。会場では、アサリ汁や海産物の販売のほか、出店コーナーなども設けられますので、ご家族や友人同士、皆さんでご来場ください。

なお、潮干狩りへの参加には事前の予約が必要です。2日間とも先着3,000人の受け付けとなりますので、参加を希望する方はお早めにお申し込みください。

※会場周辺の駐車場には限りがありますので、車でご来場の際には山田漁港臨時駐車場または鯨と海の科学館前駐車場をご利用ください。当日は同駐車場と会場間でシャトルバスを運行します。

◆問い合わせ 町水産商工課商工観光係 (☎82-3111内線223) へどうぞ。

山田の春を 潮干狩りで満喫しよう

第1回

4月29日(祝)

- ◇採捕時間 午前8時～11時
- ◇受付時間 午前7時～9時
- ◇最干潮 午前9時45分ごろ

第2回

5月2日(日)

- ◇採捕時間 午前10時～午後1時
- ◇受付時間 午前9時～11時
- ◇最干潮 午前11時40分ごろ

- ◆場所 織笠川河口干潟
- ◆協力金 中学生以上…800円
小学生…400円
幼児…無料

- ◆採捕量 1人につき2kgまで
(計量で確認します)
- ※大型スコップやジョレンは使用できません。



5月10日～6月15日

アサリ漁を一般開放

町内の漁業協同組合で組織する共有第一種第一号第一種共同漁業権連合管理委員会では、期間を限定し一定の条件付きで山田湾内のアサリ漁を一般開放します。山田湾全域にはアサリ資源の繁殖保護を目的に「アサリ漁業権」が設定されており、漁業者(組合員)以外の方はアサリを採捕することができませんが、一般の皆さんにも春の風物詩を堪能してもらおうと、期

間や殻長制限などを定めて開放するものです。次の条件を守り、潮干狩りをお楽しみください。

- ▽期間 5月10日～6月15日
- ▽時間 日の出から日没まで
- ▽殻長制限 殻長2cm以下のアサリは採捕できません。
- ※ジョレンは使用しないでください。
- ◆問い合わせ 共有第一種第一号第一種共同漁業権連合管理委員会(船越湾漁業協同組合内 ☎84-2121) へ。

◆申し込み方法

町水産商工課または山田町観光協会道の駅案内所に備え付けの申込用紙で直接申し込むか、往復はがきにて下記の項目を記入して郵送してください。

◇申込期限 第1回…4月23日 第2回…4月26日

往信(表)	返信(裏)
 028-1371 山田町船越6-141 (道の駅やまだ内) 山田町観光協会案内所 「アサリまつり」係	白紙 ※参加券を印刷して返送しますので、何も記入しないでください。

返信(表)	往信(裏)
 (自分の郵便番号) (自分の氏名) 様 (自分の住所)	山田アサリまつり 参加予約申し込み ・参加希望日 ・参加人数 中学生以上 名 小学生 名 申込者の住所、 氏名、電話番号

予約制です。
申し込みは
お早めに！



※はがき1枚につきどちらか1日だけの申し込みとなります。
※人数は、中学生以上と小学生をそれぞれ記入(幼児の人数は不要)。1度に最大10人まで申し込みできます。

このコーナーでは、町にゆかりのある歴史人物とその結び付きなどをシリーズで紹介しています。執筆者は山田史談会長の佐藤仁志さん（豊間根・75）です。

恒夫は明治37年、大阪市に生まれた。作家石濱恒夫は叔父にあたる。

旧制大阪高等学校卒業後、東京帝国大学に入学。在学中の大正14年、同人雑誌『辻馬車』に「首」を発表し新感覚派の作家としてデビュー、川端康成らに文才を認められた。その後、プロレタリア文



現在は公園として整備されている通称「御蔵山」(八幡町)から見る町並み

山田漁港を舞台に 小説を書いた藤沢恒夫

学に転向、武田麟太郎・高見順らと『大学左派』を創刊、昭和

を舞台に、漁民の権利闘争を描いている。また、その続編とし

5年に発表した「生活の旗」「傷だらけの歌」で左派作家として地位を確立したが、結核を患い大阪に帰る。このころ恒夫は翻訳の仕事をしている。

恒夫は度々山田町を訪れ取材、昭和7年、30歳の時『改造』3月号に、山田町の漁港を舞台にした作品「漁夫」を発表した。

埋立工事」の2部作を岩手県旧山田町合同労働組合の同志諸君におくりませ」との言葉が添えられている。

その後通俗小説に転じ、昭和11年「花粉」、15年「新雪」で新聞小説家として復帰、大衆流行作家として数多くの小説を書き、42年ころから「将棋水滸伝」「将棋に憑かれた男」などを著し、将棋ものに新境地を開いた。

昭和59年に出版された新日本出版社発行の『日本プロレタリア文学集』17巻に、「漁夫」「海

岸埋立工事」が収録されている。4年後の平成元年に恒夫は85歳の生涯を終えた。「形のよい黒松の生えつつづいている岬

て2カ月後『中央公論』5月号に「海岸埋立工事」を発表した。この2部作「漁夫」「海岸埋立工事」は、単なる闘争の記録としてではなく、当時の漁師の労働の厳しさ、漁民たちの苦しさを正確に生き生きと描写しており、文学作品としての完成度が高いといわれている。作品の末尾には「この『漁夫』『海岸

が一本の腕のように、太平洋から小さな湾を抱え込んでいた。川端の町(旧山田町)は漁夫が大部分で、人口が2千2、3百人の町である。町の中央の火の見梯子の横から、背後の尾倉山(御蔵山)へ、道がついている。少し登ったところに役場、その上に小学校があった。その左手に氏神の八幡様の赤い鳥居が、半ば樹に隠れて見えていた」と『漁夫』に当時の景観が記されている。

町長室から

2月28日午後に来襲したチリ大地震津波は、本町のカキ・ホタテ・ワカメなどの養殖施設に大きなつめ跡を残しました。被災された漁業者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。被害の状況ですが、養殖施設の被害額が約4953万円、養殖水産物の被害額が約1億8638万円となっております。町では、被害額が判明した時点で対策を協議し、被害を受けたはえ縄施設の撤去費用の全額、施設の復旧資材費の半額を漁協に助成することにし、既に必要経費3000万円の補正予算を3月12日に閉会した町議会で可決しております。さらに国県からの支援を求めため農水省や民主党本部、県知事などへの要望活動を行いました。幸い今回の津波では人的被害はありませんでしたが、避難が長時間に及んだことから訓練では気付かなかつた反省点なども指摘されており、改善するつもりです。

山田町長 沼崎 喜一



たけみつ
巖武光さん（八幡町・82）

れいな山の中で何にも縛られずに作業に没頭できるのがいいんだろうね。作業を始めるにあつという間に辺りは暗くなっているよ」と元気があふれんばかりに話すその表情は、とても82歳には見えないほど輝いていました。

体が動く限り仕事続けたい

元気な じいちゃん

Vol.27

「おいしいちゃんではなく82歳のお兄さんと呼んでほしいね」と話すのは宮古市出身の巖武光さん。20年ほど前から山田で暮らしています。

思春期を遠野の旧制中学で過ごした巖武さんは、戦時中に厳しい訓練を受けたため体は丈夫そのもの。薬も飲んでいません。

卒業後は、東京の専門学校に進学しましたが、23歳のときに家業

の養蜂を継ぎ、今でもはちみつを探り続けています。最盛期になると作業場まで片道2時間の道のりを毎日車で通うという巖さん。通い続けて60年という長い経験のおかげで、今ではまるで会話するかのようミツバチの習性が手に取るように分かるそうです。「話ができるようになってからますますこの仕事が楽しくてしょうがないね。体が動く限り続けたいよ」と仕事に対する情熱は冷めることはありません。

そんな仕事熱心な巖武さんに健康の秘訣を聞くと「空気のき

キッチンスタジオ No.25

ハーモニー

このコーナーでは、町管理栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽にできるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今回は、新入生が楽しくおいしく食べられるお弁当を紹介します。手軽に作れますので、どうぞお試しあれ。

【材料】

- おにぎり三色 ご飯…1膳(子供用茶わん)
サケフレーク…大さじ1 卵…1/3個
焼きのり…1/4枚
- つくねのいそべ巻き 鶏ひき肉…25㍑
卵…2/3個 焼きのり パン粉 小麦粉…各適量
㊤日本酒 塩 しょう油…各少々
㊦しょう油 砂糖 みりん…各少々
- アスパラとチーズのベーコン巻き
アスパラガス…1本 ベビーチーズ…1個
ベーコン…1枚

【作り方】

おにぎり三色

- ① ご飯は3等分に分ける。卵は、塩とコショウで味付けし、いり卵にする。
 - ② サケフレーク、いり卵をそれぞれご飯に混ぜ、ラップで包み丸いおにぎりを作る。のりおにぎりはご飯をラップで包んで丸め、塩を振り焼きのりを巻く。
- #### つくねのいそべ巻き
- ① 鶏ひき肉に卵、パン粉、小麦粉、㊤を加えよく練り混ぜる。
 - ② ①を棒状にして、フライパンにふたをして蒸し焼きにする。火が通ったら焼きのりを巻き㊦を加えて

入学ワクワクお弁当



味付けする。

アスパラとチーズのベーコン巻き

- ① アスパラガスは色よく塩ゆでし4等分に切る。ベビーチーズはアスパラと同じ長さに4等分する。
- ② 半分に切ったベーコンに①を2本ずつ巻き、つまようじでとめてフライパンで両面を焼く。
- ③ こげ目がついたらフライパンから取り出し半分に切る。つまようじをはずしてお弁当に詰めればできあがり。



佐々木 龍大
(織笠・奈津美・男)



武藤 翼
(長崎・一仁・男)



佐藤 杏那
(飯岡・誠也・女)



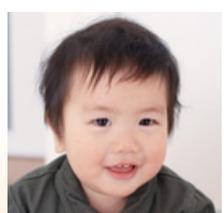
高橋 凜華
(田の浜・徹・女)



小野寺 花凜
(八幡町・京太・女)



※敬称略、()内は地区名・保護者・性別です。



佐々木 悠人
(大沢・広行・男)



佐々木 陽飛
(織笠・勝義・男)



芳賀 大翔
(荒川・尚徳・男)



菊地 美桜
(大沢・秀幸・女)



おめでとう・おくやみ

2月届け出分 (敬称略)
〔出生〕 () は保護者と性別
 ▷山田 福士真央 (昭則・女)、岩淵陽南 (智也・女)、小成琴心 (勝也・女)
〔結婚した二人〕 () は住所
 豊間根貴宜 (豊間根)・佐々木由美子 (宮古市) 岩間裕 (宮古市)・阿部友絵 (長崎)
〔死亡〕 () は年齢
 ▷山田 藤井キミヨ (94)、菊池義忠 (84)、佐藤マサ (73)、福土重男 (94)、齊藤善也 (86)、丹内セツ (62)、武藤善禧 (79)、荻谷喜悦 (83)
 ▷田の浜 伊藤道夫 (62)、佐々木正一 (85)、佐々木清治 (93)
 ▷織笠 吉川ミセ子 (72)、山口ミサ (83)
 ▷大沢 鈴木宗之 (47)、河村勲 (83)

町民のうごき

(2月1日～28日)

▷出生……3人 ▷転入……17人
 ▷死亡……20人 ▷転出……29人

▷人口…19,504人 (今月減 29人)
 男…9,386人 女…10,118人
 ▷世帯数……7,210世帯

ケビンハウスが内装をリニューアル

どうぞご利用ください

船越家族旅行村のケビンハウスは、内装をリニューアルし、より快適にお過ごしいただけるようになりました。どうぞご利用ください。

◇利用時間 チェックイン 午後2時
 チェックアウト 午前10時

◇受付時間 午前8時半～午後7時半

◇利用定員 1棟につき最大6人まで

◇利用料金 9,970円 (4人まで)、暖房料230円

※超過人数1人につき1,020円 (小学生未満の添い寝の場合は超過料金をいたしません)

◇主な設備 ガスコンロ、炊飯器、電子レンジ、冷蔵庫、食器類・調理器具一式、テレビ、こたつ、ファンヒーター

※シャンプーや石けん、タオル、洗面用具はご持参ください。

◆申込先・問い合わせ 船越家族旅行村管理事務所 (☎84-3755) へ。



◆愛読くださる皆さんのおかげで「みんなのスペース」へのイラストが増えています。紙面の都合上、小さく掲載される場合がありますので、文字などは大きく書いてください。政

◆旅行村付近のウメの花も咲き始め、少しずつ春の気配を感じさせてくれます。さて、4月から5月にかけては町内のイベントが盛りだくさん。皆さんも春を満喫しにお越しください。

